

	JIS A 1481-1(定性・推定定量) JIS A 1481-4(定量)	JIS A 1481-2(定性)	JIS A 1481-3(定量) JIS A 1481-5(定量)
対象建材	全ての建材 天然鉱物も対応可	建材全般 ただし天然鉱物及びそれを原料としてできた製品(バーミキュライトを主原料とした吹付け材は除く)は対応不可	建材全般 ただし天然鉱物及びそれを原料としてできた製品は対応不可 (天然鉱物の場合は基安化発0828001号にて実施)
試験装置	実体顕微鏡 偏光顕微鏡	X線回折装置 位相差分散顕微鏡	X線回折装置
試料採取数	原則 1 試料 (吹付け材の場合は3箇所から採取)	3 箇所から採取して、混合1試料 ※JIS A 1481-5については、JIS A 1481-1に準拠	
分析費用	JIS A 1481-1 (要相談) JIS A 1481-4 (未対応)	JIS A 1481-2 (要相談) JIS A 1481-3、JIS A 1481-5 (要相談)	
試料採取量	ボード類：1cm ³ (サイコロ大) 吹付け材、保温材：10cm ³ (ゴルフボール大)	ボード類：100cm ² (名刺2枚分) × 3 吹付け材、保温材：10cm ³ (ゴルフボール大) × 3	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数素材の組合せの建材は素材毎の層別分析が可能 (JIS A 1481-1) ・ JIS A 1481-1はISO 22262-1に相当 ・ JIS A 1481-4はISO 22262-2に相当 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの国内での中心的分析法 ・ 技術者による技能差が生じにくい分析 ・ 旧JIS(2008)の定性分析方法に相当 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アスベスト濃度の定量が可能 ・ JIS A 1481-3は旧JIS(2008)の定量分析方法に相当 ・ JIS A 1481-5は及びISO 22262-3に相当